

運用方針

この上場投資信託（ETF）は主に投資適格債に劣後した、又は格付けのないハイイールド債に分散投資することでインカムを得ることを目的としています。値上がり益は副次的な目的です。

ファンド概要

ティッカーコード HYLS
CUSIPコード 33738D408
イントラデイ・ティッカー HYLSIV
設定日 2013年2月25日
30日SEC利回り[†] 4.61%
取引所 NASDAQ

報酬及び経費

運用報酬 0.95%
借入コスト 0.28%
年間経費率（合計） 1.23%

運用担当者

ウィリアム・ハウジー（債券部長）
ジェフリー・スコット
オーランド・プルブラ

運用戦略

- First Trust Tactical High Yield ETFはアクティブ型の上場投資信託（ETF）です。通常、米国及び米国以外の社債、バンクローン、転換社債を含むハイイールド債に投資します。
 - 当ファンドはロングポジションとショートポジション[^]を持つことがあります。ロングポジションは当ファンドの純資産の130%を上限とし、ショートポジションは当ファンドの純資産の0%～30%内で運用します。
 - 当ファンドは、米国債及び投資適格またはハイイールド債と格付けされる社債をショートポジションにとることがあります。
 - このロング/ショート戦略は、様々な相場サイクルで投資機会を捉えることを目指しています。

運用会社

- ポートフォリオは、ファースト・トラスト・アドバイザーズのレバレッジド・ファイナンス・インベストメント・チームによって構築および運用されます。
 - 同チームは、変化する投資環境において、ハイイールド債、シニアローン、デリバティブ、債券の市場には投資リスク機会が存在していると考え、ファンダメンタルズに基づく厳格な銘柄選定プロセスとレバレッジド・バリュー分析の組み合わせを駆使しています。
 - 魅力のある投資機会を捉え、潜在的リスクを有効に管理するためには、チームは綿密かつ継続的なクレジット分析、市場の評価、投資の分散、ロングポジション/ショートポジションの組み合わせ、およびシニア債、劣後債とデリバティブに機動的に投資していく能力が不可欠であり、これによってより高いリスク調整後リターンを実現可能と考えています。
 - ファンダメンタルズ分析には、業界動向、経営資質、担保の妥当性、企業のキャッシュフローの一貫性の評価が含まれます。レバレッジド・ファイナンス・インベストメント・チームは、クレジット・ファンダメンタルズ分析によって、市場で最も魅力ある相対価値の高い有価証券のポートフォリオを組むことができると考えています。

運用実績の概要 (%)

	3か月	年初来	1年	3年	5年	10年	ファンド設定来
ファンドの運用実績*							
基準価額（NAV）リターン	4.35	0.53	2.96	4.16	5.12	—	4.87
市場価格リターン	4.70	0.64	3.01	4.22	5.12	—	4.90
指数のリターン**							
ICE BofA 米国ハイイールド・コンストレインド指数	4.70	-0.38	2.22	3.81	6.60	—	5.04

運用実績 (%)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	YTD
HYLS	—	—	—	—	2.43	-0.15	8.56	6.06	-1.79	13.93	0.53
ICE BofA 米国ハイイールド・コンストレインド指数	—	—	—	—	2.51	-4.61	17.49	7.47	-2.25	14.41	-0.38

リスク 過去3年

	標準偏差 (%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関係数
HYLS	7.78	0.61	0.83	0.32	0.98
ICE BofA 米国ハイイールド・コンストレインド指数	9.23	—	1.00	0.25	1.00

記載された運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。現在の運用成績は、記載された運用実績を上回る場合も下回る場合もあります。投資リターン及び投資元本は変動するため、投資家の受益証券の売却または償還時の価値は取得原価を上回る場合も下回る場合もあります。直近の月末現在までの運用成績は、www.ftportfolios.comにて入手することができます。

[†]30日SEC利回りは、直近30日間における一株当たりの純投資収益を同期間末日の一株当たり最高オファー価格で割ったものです。

***基準価額（NAV）リターン**は、当ファンドの純資産総額（資産から負債を控除した額）を当ファンドの発行済株式数で割った当ファンドの基準価額に基づいて算出したものです。**市場価格リターン**は、受益証券が上場されている証券取引所において、基準価額が計算される時刻における買付値と売呼値の仲値に基づいて算出したものです。リターンは平均の年次リターンであり、期間1年未満のリターンは累積リターンです。

**指数は運用報酬も仲介手数料もかからず、記載されたリターンから運用報酬も仲介手数料も控除されていません。指数は運用されるものではなく、投資家は指数に直接投資することはできません。

[^]「ロング」と「ショート」は、有価証券の保有を説明する投資用語です。有価証券を買うことを「ロング」と言い、反対が「ショート」です。ショートとは借りた有価証券を売るという、高度な運用戦略です。ショートは、ショートした価格より有価証券の価格が下がり、その低い価格で買うことによって利益を得ることができます。

ポートフォリオ情報

保有銘柄数	408
加重平均実効デュレーション (ネット、ショートポジション含む) ¹	2.50年
加重平均実効デュレーション (ロングポジション) ¹	2.52年
加重平均残存年数(ロングポジション)	5.26年
加重平均価格	\$99.52
ロングポジション比率	113.04%
ショートポジションー米国債	-13.91%
オプション調整後スプレッド ²	546 bps
3か月LIBOR ³	0.23%

上位10業種別投資内訳 (%)

ヘルスケアプロバイダーとサービス	17.33
メディア	12.74
ソフトウェア	11.01
医薬品	8.35
ホテル・レストラン・レジャー	7.13
保険	6.98
エンターテインメント	3.44
容器・包装	3.00
多角的通信サービス	2.79
建設関連製品	2.53

保有上位10発行者 (%)

Tenet Healthcare, Corp.	3.12
Bausch Health Companies Inc. (Valeant)	2.97
Multiplan Inc (MPH)	2.50
HUB International Limited	2.49
Asurion, LLC	2.17
Endo LLC	2.12
Amwins Group, Inc.	2.00
Alliant Holdings I, LLC	1.89
CEMEX, S.A.B de C.V.	1.87
Gray Television, Inc.	1.86

格付け (%)⁴

BBB	0.44
BBB-	1.25
BB+	3.02
BB	9.50
BB-	9.64
B+	16.92
B	25.13
B-	15.67
CCC+	12.29
CCC	2.92
CCC-	0.74
C	0.03
D	2.11
格付けなし	0.34

「ポートフォリオ情報」は、現金およびその他の資産、負債は除外して算出されております。

¹ 利回りが変動する際に債券価格が影響を受け、金利の変動に対する債券の感応度を示す指標。

² 確定利付証券の利回りと組込オプションを考慮し調整したリスクフリーレートのスプレッドを示す指標。

³ ロンドンの市場での銀行間貸出金利 (3ヶ月物)。

⁴ 格付けはスタンダード&プアーズによるものです。信用格付けは、全国的に認知された統計格付け機関(NRSRO)が、債券に関して債券発行体の信用力を評価するものです。評価は、一般的にAAA(最上位)からD(最下位)までの範囲で評価されます。投資適格は、長期信用格付けがBBB-以上とされ、NRは格付けがないことを示します。示されている信用格付けは、当ファンドまたはその株式ではなく、当ファンドが保有する有価証券の発行体の信用力に関連しています。信用格付けは変更される場合があります。

投資の前に、当ファンドの投資目的、リスク、手数料・費用などについて慎重にご検討ください。これに関する情報、また当ファンドのその他の情報は、当ファンドのプロスペクトス又はサマリープロスペクトスに記載されており、First Trustのウェブサイト (www.ftportfolios.com) にて入手することができます。当ファンドへの投資の前にプロスペクトスの内容を十分にご確認ください。

ETFの特性

当ファンドの優先取引所はNASDAQです。流通市場において当ファンドの受益証券の売買を行う投資家には所定の仲介手数料が課される場合があります。市場価格はある程度当ファンドの受益証券の基準価額から乖離することがあります。受益証券の売却を行う投資家は受益証券の基準価額よりも低い代金を受け取る可能性があります。ミューチュアルファンドと異なり、当ファンドの受益証券の解約は、指定参加者からの巨大なクレーション (又はリデンプション) ・ユニットの引き渡しによってのみ行われます。当ファンドの指定参加者がクレーション・リデンプションの注文が執行できず、また他の指定参加者が代わりにクレーション・リデンプションの注文が執行できない場合には、当ファンドの受益証券は当ファンドの基準価額と比べて割り引いた価格で取引され、場合によっては上場廃止となる可能性があります。

留意事項

当ファンドの受益証券の価格は変動するものであり、元本割れの恐れがあります。当ファンドはアクティブで運用されるため、運用リスクの影響を受けます。当ファンドのポートフォリオを運用する上で、運用会社は活用する運用手法及びリスク分析で期待どおりの結果を得られない可能性があります。当ファンドの投資目的が達成される保証はありません。当ファンドは市場リスクの影響を受けます。市場リスクとは、当ファンドが保有する株式、当ファンドの受益証券又はその他の株式の価格が下落するリスクです。2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症 (COVID19) が世界の金融市場において大幅な変動性の増加及び価格の暴落をもたらしており、損失を被っている投資家があります。パンデミックである新型コロナウイルスは長期間流行する可能性があり、予見可能な将来にわたって引き続き経済に影響を及ぼすと考えられます。

ハイイールド債、つまり「ジャンク債」は、格付けの高い有価証券よりも市場の変動が大きく、損失のリスクが高いため、極めて投機的である可能性があります。

ハイイールド債は、事業実績が浅い、ニッチな事業、及び/又はその他期日通りの利息の支払い並びに満期時の元本の返済を阻むような特徴のある企業によって発行されます。

ハイイールド債の規模は、投資適格証券市場に比べ小さく、流動性も低くなっています。

ハイイールド債には、信用リスク、金利リスク、利息収入リスク、期限前償還リスクが挙げられます。信用リスクとは、証券の発行体が、支払期日に配当、利息、元金の支払いを行うことができなくなり、結果、債券の価値が下がるリスクです。

金利リスクとは、金利の上昇すると、当ファンドが保有する確定利付債の価格が下落するリスクです。利息収入リスクとは、金利の低下に伴って調整される変動利付債を当ファンドが保有しようとするため、金利が低下すれば、当ファンドのポートフォリオの収益が減少するリスクです。

期限前償還リスクとは、金利が下がっている期間、発行体が期限前に元金を支払う権利を行使するリスクです。その結果、当ファンドの収入が減少する可能性があります。

バンクローンを発行する企業のレバレッジは高くなる傾向があり、利息の繰延リスク、債務不履行リスク、倒産リスクがより高い可能性があります。

当ファンドが投資する可能性のあるバンクローンは、投資不適格または格付けされていない場合があります。その結果、ハイイールド確定利付債のリスクと類似します。

ローンは期限前償還リスクがあります。借り手がローンの期限前償還を行う確率は、景気動向、借り手の財務状況、ローンの貸出条件やそれ以外の競合状況などの影響によります。当ファンドは期限前償還されたローンと同程度の有利な発行条件のものに再投資できないこともあります。

シニアローン市場は、貸し手保護が弱くなっているローンが増えてきており、今後の(シニアローンの)回収可能額及び/又は取引高に影響を与える可能性があります。

転換社債の市場価値は、金利が上昇するにつれて下落し、逆に金利が低下するにつれて上昇する傾向があります。転換社債の市場価値は発行会社の普通株式の市場価格の影響を受ける傾向もあります。

当ファンドはディストレスト証券に投資する可能性もあります。ディストレスト証券の多くは、流動性が低く取引量も少ないため、評価が困難な可能性もあります。異常あるいは不利な市場、経済、規制、政治の状況の時には、当ファンドは完全にまたは部分的にもショート戦略を実施できない場合があります。

ショートはリターンの変動性を高め、より大きな利益またはより大きな損失をもたらす特有なリスクを備えています。当ファンドは、米国の発行体の証券より高いボラティリティの米国以外の発行体の証券に投資しています。

当ファンドは米国以外の証券に投資しますが、基準価額は米ドルで評価されるため、現地通貨が米ドルに対して下落した場合には、損失を被る可能性があります。通常、当ファンドの株式の一部は現物設定・現物交換ではなく、金銭設定・金銭交換が行われます。そのため、当ファンドは税率率が比較的低い可能性があります。

用語集

標準偏差は価格の変動性(リスク)の指標です。**アルファ**は、投資対象のリスク調整後リターンがどれくらいベンチマークを上回るか下回るかの指標です。**ベータ**は市場に対する価格変動性の指標です。**シャープレシオ**は標準偏差の一単位あたりの超過リターンの指標です。**相関係数**はパフォーマンスの類似性を測る指標です。**ICE BofA 米国ハイイールド・コンストレインド指数**は、米国市場で公募が行われた投資不適格のドル建て社債のパフォーマンスに追従しますが、各発行体のエクスポージャーの上限は2%です。